

ボーリング柱状図




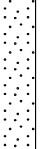









調査名 主要地方道東海田広島線交差点改良事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 4 4 5 4 0 0 1

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名		No.1		調査位置		海田町畝2丁目（国信橋右岸）				北緯		34° 22' 48.8300"			
発注機関		広島県西部建設事務所				調査期間		平成28年 1月28日～平成28年 2月 1日				東経		132° 33' 12.7900"	
調査業者名				主任技師				現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高		KBM 5.77m		<div>角 180° 上下 0° 90° 0°</div>	<div>方 北 0° 90° 270° 西 東 180° 南</div>	<div>地盤勾配 0° 鉛直 90° 水平 0°</div>	<div>使用機種</div>	試錐機		東邦地下工機 D1-B		ハンマー落下用具		半自動型	
総掘進長		13.31m						エンジン		ヤンマーディーゼル NFD-12		ポンプ		東邦地下工機 B G-3 B	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取		室内掘進	月日			
													深	度	10cm毎の打撃回数	打撃回数／貫入量		深	度	試験名及び結果	深			度	採取方法	内試験
m	m	m	m	m	図	分	調	度					m	10	20	30		m	m	m	m	m	m	m		
1	4.57	1.20	1.20		シルト質砂	暗褐	非常に密な		表層7cmコンクリート、敷石3cm砂は河川性の細砂主体で細粒分が混じる			1/30 1.50	1.15 1.20	1 5	49 0	50 5	300							1/28		
2	4.07	0.50	1.70		巨石	灰			旧石積み擁壁、基礎コンクリート				2.15	6	3 12	2 8	11 30	11						1/29		
3	3.67	0.40	2.10		砂礫	褐灰			石積み築堤時の捨石				2.45					8								
4					砂	灰褐	緩い		河川性堆積物砂は細～中粒砂主体で所々にφ10～30mmの礫を混入 礫は円礫主体			3.15	2	3 9	3 11	8 30	6									
5												3.45					5									
6	-0.13	3.80	5.90									4.15	2	1 12	2 8	5 32	5									
7									深度5.9mより礫の含有率高くなる含有率の高い所や、低い所ある 礫は、亜角礫～円礫と様々である			4.47					8									
8												5.15	2	3 3	3 8	8 30	24						1/29			
9												5.45					17									
10												6.15	8	8 8	8 24	33	33									
11	-5.13	5.00	10.90		礫混じり砂	灰褐	中くらい		深度9.5m以深で黒色の細粒分を挟在する			6.45					9									
12												7.15	4	7 6	17 30	188										
13	-7.54	2.41	13.31		砂礫	灰褐			礫の含有率60%くらいとなるφ30mm前後の礫を主体としてコア長5cmの礫を確認 礫は亜角礫～円礫で砂は粗砂主体			7.45					94									
14												8.15	8	14 11	33 30	94										
15												8.45														
16												9.15	3	2 4	9 30											
17												9.45														
18												10.15	15	10 9	34 30											
19												10.45														
												11.15	50		50 8											
												11.23														
												12.15	27	23 6	50 16											
												12.31														
												13.15	26	24 6	50 16											
												13.31														

備考

注1) 試料採取方法の記号

T：シンウォールサンプラー F：フォイルサンプラー
P：標準貫入試験用サンプラー O：オーガー
D：デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号